

第3回農産物を活かした地域デザインセミナー

講演テーマ「パッケージデザインを農業に活かす」

講師 野口 正治氏 ノグチデザインスタジオ/代表



経歴

1946年栃木県生まれ
武蔵野美術大学基礎デザイン学科非常勤講師。
1969年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。GKインダストリアルデザイン研究所入社。1986年有限会社スタジオコムテック設立。1998年株式会社ディーシー取締役。川崎市産業振興財団専門家、社団法人かながわデザイン機構副理事長などを歴任。地域およびまちづくりのデザインマネジメント。食品・医療医薬品等のデザインに関わる。東京都若手商人育成事業アドバイザー。日本グラフィックデザイナー協会会員。

パッケージデザインの世界

パッケージは、日本語に訳すと「包む」という意味です。「包」という漢字の起源を辿ると、お腹の中で命を育てている状態を表わしています。あたかも子供をやさしく包んでいるようにみえます。

自然界をみると、卵は、殻という包によって大切ないのちが守られています。さらに、その卵を包んでいる巣もひとつのパッケージといえるのではないのでしょうか。

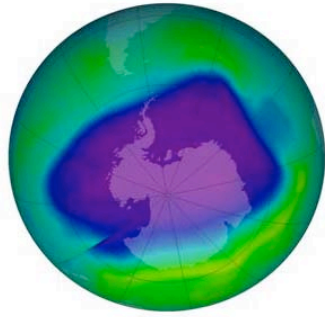
写真の巣は、偶然都会の真ん中で見つけたものです。よく見ると木の枝に混じってビニールや糸くずがからまっています。身近にあるものを利用して、必要がなくなると元にもどす。つまり、自然に還るということで良く考えられていると思います。

野菜のそらまめです。なかの豆を真綿のような毛で包み、さらに殻で包んでいます。

人が包まれるということでは、宇宙服はまさに生命を守るパッケージと言えるでしょう。さらに、地球という惑星も大気というパッケージに包まれているのではないのでしょうか。

しかし、近年オゾン層の破壊によって、生命を守る大気が壊され、さまざまな地球環境への影響が懸念されています。すべての生命は、包まれることで護られています。





NASA OZONE HOLE WATCH Sep. 25, 2006



ものであふれた社会は豊かですか

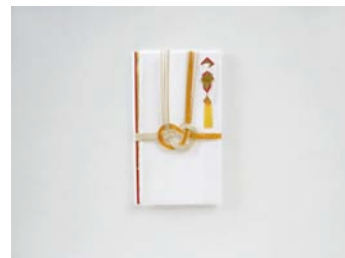
私たちが普段利用しているスーパーやコンビニの中に入ってみると数え切れないほどの商品パッケージが、整然と陳列されています。その規格は統一され、秩序を乱すような規格外の商品は存在しません。私たちのまわりには魅力的な商品で溢れています。はたして、モノやパッケージで溢れた社会は豊かなのでしょうか？大量に消費されるパッケージは、大量のゴミを生んでいます。これらが、海岸に捨てられ、放置されたゴミの山がうつくしい景観を汚しています。つまり、パッケージは生活と密接な関わりをもっています。パッケージを考えることは、生活を考えること。パッケージをデザインすることは、生活をデザインすることです。



ひとはなぜ包むのか

心を包む日本の伝統的なパッケージを紹介します。そこには、「包む」という行為に意味と愛情と洗練さがあります。貨幣を包む和紙の袋には、美しい水引が巻かれ、贈る人の心情を表わしています。

最上地方に古くから伝わるたまごのつとは、わらにたまごを巻いて包んだみやげものです。病気見舞いや祝いのごちそうに使われました。また、わらで編んだなんば編は、野菜や果物を干すという極めて単純な保存方法です。柿や大



根、トウモロコシにもみられ、非常にシンプルで美しいパッケージです。さらに、能登地方に行くと、ブリを乾燥させてわらを巻いた保存食があります。わらを下からほどきながら食べます。

風呂敷も様々な形に変身する布の包です。一枚の布がお酒の一升瓶を包み手提げ袋に変身します。包むことは内と外を隔て、清いものを差し上げるという、送る側の心をも表わしています。包みかたにも作法があります。

昔からよく使われていた包み紙に新聞紙があります。包装素材としては大変優れたリユース素材です。どこの家庭にもあり、緩衝材として、通気性や保湿の面から見ても優れています。



パッケージの機能

パッケージを成立させるには4つの機能があります。たとえば、水をこぼさないように移動するにはどうすればよいのでしょうか。

コップは、水が溢れて持ち運びには不便です。ふたの付いたボトルは中身を保護するのに便利です。しかし、中身が分からないので情報化する必要があります。飲み終えたら捨てられてしまうので環境にも配慮しなければなりません。

1. 中身を保護する PROTECT.
2. 便利にする CONVENIENCE.
3. 情報化する INFORMATION.
4. 環境に配慮する ECOLOGY 機能です。

中身を保護する PROTECT

壊れやすいものを包む

先ほど紹介した、材料にわらを使って包んだものですが、不用になったら自然に還すことができる環境に優しい素材です。パルプモールドを使った卵のパック容器があります。これは、古紙を水で溶かし、金網ですきあげ乾燥してできる紙製の成型品です。繊維同士が水素結合し自己接着をしているので、水に溶けやすく、焼却した時に出るCO₂の排出量が少ないという利点があります。ただし、中身が見えないことや包材のコストが高いことがあげられます。現在ではOA機器などの梱包材として使われることが多い素材です。



様々なものを包む

通販サイト大手のアマゾンの梱包を見てみると、内側に、弱い粘着剤がついた封筒や段ボール箱があります。商品にのりが付かないように、輸送中に商品がずれて痛まないように保護します。また、緩衝材が不用で、簡単に中身が取り出せるワンタッチオープンがユーザーにとってはうれしい機能です。ケアマーク、リサイクルマークもわかり易く出来ています。



空気で包む

エアパッキングやビニール袋があります。空気で包んでガラス容器や陶磁器など壊れやすいものを保護します。空気そのものがパッケージといえるでしょう。落下や衝撃に強く、膨らんだ状態で自立するので中身がよく見えるというところで機能的です。



「パットラス」は農家が考えた空気でつぶれない正四辺形の野菜パックです。筒状の透明シートを片方90度傾けてシールする極めてシンプルな構造とカタチです。2007年度グッドデザイン特別賞を受賞しました。潰れやすいベビーリーフ等の野菜やポテトチップスを入れることができ、シール部分の矢印を左右に開ければそのままお皿としても使えます。



便利にする CONVENIENCE

台所で一升瓶から卓上容器に移し替えて使っていたしょうゆを工場から直接食卓へ。40年以上のロングセラーの醤油瓶は、そそぎやすく液誰のしない使いやすい形状の容器パッケージです。

次は、お酒の容器パッケージ。とっくりとおちょこをセットにして、

いつでもどこでもお酒を楽しめる便利さがあります。

最近、単身者・小家族・高齢化むけに、より少なく小さく、手間をかけない食材が増えています。食に対する時間のかけ方が変化してきています。食事から時間を惜しむ食時へ。「10秒メシ」というキャッチフレーズの飲むゼリーが売られています。

最も小さいパッケージは風邪薬のカプセル。おなかで溶けて無くなるパッケージです。また、錠剤のような粒状のものを保護するアルミパックがあります。直接薬に触れず、衛生的で、持ち運びに便利です。

30年以上も前にデザインされた、家庭救急セット「ホームドクター」のパッケージです。いざという時に見つからなかったり、置き場所がばらばらだったり、中身が取り出しづらかったという経験から、本棚に収納ができるパッケージを考案しました。救急時に便利なエマージェンシーデザインです。



情報化する INFORMATION

食品パッケージの表面には、様々な表示が義務づけられています。使われている食材などの情報は公正競争規約で表示内容、順番、活字の大きさが決められています。さらに、遺伝子組み換え食品としての表示、アレルギー物質の表示義務など食品衛生法やJAS法により厳しく管理されています。

最近では、栄養改善法にもとづく栄養過多による肥満、成人病を防ぐため、食生活のコントロールが重要になりつつあり栄養成分表示が大切になっています。

文字以外にも、商品を管理するための JAN コードという 13 桁のバーコードがあります。消毒薬につけられた商品を管理する JAN コードと GS1 コード。現行の 13 桁から 15 桁へ。小さなコードで多くの情報量が可能なので、注射器やアンプルなどの製品に導入されることになりました。

触覚で知らせる情報

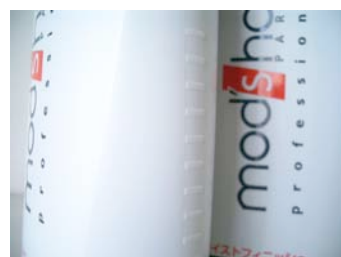
冷蔵庫の牛乳パックは高齢者や視覚障害者にわかり易いように、トップに切りかきを付けて果汁飲料と区別しています。

お風呂場では、洗髪中のシャンプーとリンスを区別し易いようにシャンプーに突起パターンをつけています。

公正、環境マークについて

フェアトレード「公平な貿易」商品のカフェオレ。グローバルな貿易の仕組みは、開発途上国の人々にとって、時にアンフェアで貧困を拡大させるものだという問題意識から、南北の経済格差を解消するもう一つの貿易の形として始まった運動がフェアトレードです。参加する企業の製品には、このマークが付けられています。

また、1998 年スウェーデンで始まり、日本など 8 カ国の組織が認証を受けている国際的なマークが EPD 環境マークです。このマークが付いている製品は、製造から廃棄まで生涯の環境影響はどのくらいあるか、ウェブ上に公開されています。



作り手の気持ちを伝える

新潟の農家の自然農業で作られたお米とたまごのギフトセットです。稲の穂や、「大地通信」という冊子をつけて、生産者の思いを丁寧に表現し、情報化させています。作り手の気持ちが真剣に伝わってきます。



環境に配慮する ECOLOGY

リサイクルマークの表示

パッケージには様々なリサイクルマークがつけられています。アメリカ発祥の三角形のマークは、プラスチックの種類別に1~7番まであります。日本では、このうち1番のペットがリサイクル法で表示が義務づけられています。空き缶リサイクル法は、△マークがアルミ缶、○マークのスチール缶の表示があります。



2001年の容器包装リサイクル法により紙製容器の紙マーク、プラマークの表示が義務化された。その他にも、法的義務は無いものの自主的に採用している紙パックや段ボールのマークがあります。



素材を軽くする

最軽量の水のペットボトルは重量が12gほどで、従来と比べペットに使う化石燃料を40%削減させています。つぶされたボトルは、容積は1/4に、重量は2/3になります。アルミ缶の飲料は、資源を省力化するため軽量化で強度の低下を防ぐためにダイヤパターンを入れています。



カーボンフットプリントについて

CO2を削減するために、カーボンフットプリント商品のテスト販売が始められました。消費者に対し環境への意識を芽生えさせ、新しい形での商品選択にして欲しいという取組みです。製品の原料の採取、製造から流通、廃棄まで製品のライフサイクルにおけるCO2の排出量を表示しています。飲食店のメニューやスーパー、食品以外にも、陸海空の移動手段、宅配便、印刷会社でも表示されていくのではないかと思います。



フライターグ FRETAG というバッグ

スイスで生まれた「FRETAG」というバッグが若者を中心に世界的にヒットしています。バッグの素材は、使用済みのトラックの幌や、シートベルト、自転車のチューブを使って世界に一つしかないバッグを作っています。素材は、全て一度廃棄物として処分されたものです。ゴミを再利用する環境にやさしいデザインです。パッケージデザインも大変ユニークです。段ボール製の箱は、引出しの付いた店舗什器として使用されディスプレイされています。ユーザーは、バッグを取り出した後、紙のテレビのオブジェとして組み立てて遊ぶことができます。捨てられて、自分たちのブランドから廃棄物が出ないように。



消費者から生活者へ

かしこい消費者から生活者へ視点を変えてみる。

わくわくどきどきする消費から生き生き生きる日常へ。

私たちが「消費者」から、賢い「生活者」へと意識を変える必要があります。パッケージデザインの世界でも、消費としてではなく生活を考えてデザインするべきだと思います。パッケージとは生活であり、そして、環境と密接に関わっているものだと思います。

